

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公開番号】特開 2018-82868 (P2018-82868A)  
 【公開日】平成 30 年 5 月 31 日 (2018.5.31)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-020  
 【出願番号】特願 2016-227415 (P2016-227415)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】  
 【提出日】令和 2 年 2 月 18 日 (2020.2.18)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機において、  
設定操作手段の操作にもとづいて設定値を設定する設定状態の制御を行う設定状態制御手段と、

前記設定状態において特定の表示を行う特定表示手段と、

演出の実行に用いられる演出手段と、

電力供給が停止してもバックアップデータを所定期間保持可能なバックアップ記憶手段と、

電力供給が開始したときに前記バックアップ記憶手段により保持されているバックアップデータにもとづいて電力供給停止前の状態に復帰させる復帰手段と、

処理の進行を遅延させる遅延処理を実行する遅延手段とを備え、

前記設定状態のときに電力供給が停止し、かつ電力供給が開始したときに前記バックアップデータにもとづいて前記復帰手段により前記設定状態に復帰される場合には、前記特定表示手段による前記特定の表示が再開した後に前記遅延処理を実行し、該遅延処理の実行後に前記設定操作手段が操作されているかを判定し、

前記演出手段は、前記設定状態であることを示す報知演出を実行可能であり、該報知演出を前記設定操作手段が操作されているかの判定が行われた以降に開始する、遊技機。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 7】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、  
 遊技を行うことが可能な遊技機（例えば、スロットマシン 1、パチンコ遊技機 1）において、

設定操作手段（例えば、リセット / 設定スイッチ 3 8、スタートスイッチ 7）の操作に

もとづいて設定値を設定する設定状態の制御を行う設定状態制御手段（例えば、図 6 および図 7 の処理を行う部分）と、

前記設定状態において特定の表示を行う特定表示手段（例えば、遊技補助表示器 1 2、設定値表示器 2 4）と、

演出の実行に用いられる演出手段と、

電力供給が停止してもバックアップデータを所定期間保持可能なバックアップ記憶手段（例えば、RAM 4 1 c）と、

電力供給が開始したときに前記バックアップ記憶手段により保持されているバックアップデータにもとづいて電力供給停止前の状態に復帰させる復帰手段（例えば、図 5 の処理を行う部分）と、

処理の進行を遅延させる遅延処理を実行する遅延手段とを備え、

前記設定状態のときに電力供給が停止し、かつ電力供給が開始したときに前記バックアップデータにもとづいて前記復帰手段により前記設定状態に復帰される場合には、前記特定表示手段による前記特定の表示が再開した後に前記遅延処理を実行し、該遅延処理の実行後に前記設定操作手段が操作されているかを判定し（例えば、図 6 の S c 5 の処理以降で電断復帰したときは、S c 5 を行った後に S c 8 , S c 1 3 , S c 1 8 のいずれかで Y と判定されたときに S c 6 の処理を行って S c 7 で Y と判定されたときに S c 1 2 及び S c 1 7 に進む部分、図 2 2 に示す部分）、

前記演出手段は、前記設定状態であることを示す報知演出を実行可能であり、該報知演出を前記設定操作手段が操作されているかの判定が行われた以降に開始する。

この構成によれば、誤った操作が行われることを抑止できる。